

妊娠中の社員への庁舎内消毒作業指示を直ちに中止せよ！ 車掌区の変革を求める！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、都知事は（都内外への）不要不急の外出を控えることや、高齢者ならびに体調不良者や基礎疾患のある方は『外食』を極力控えることを呼びかけています。

東京車掌区では、自職場の社員から陽性者が出たにもかかわらず、妊娠中の社員を出社させ、さらに庁舎内の消毒作業をさせています。現場長は「配慮している」と述べているようですが、車掌区の姿勢に「社員を大切に考えていない。母子の健康を考えて」「東車は働き方改革に逆行している」「人として大切なことが欠けているのではないか」といった声が分会に寄せられています。

妊娠中の社員と新しい命を守るために、そして車掌区で働く仲間にこれ以上不安を与えないために、車掌区は妊娠中の社員への庁舎内消毒作業指示を直ちに中止するべきです。あわせて配慮が必要な社員への作業指示も改めるべきです。誰もが安心して働ける職場をつくるために、車掌区に姿勢を正すことを要請します！

これらの問題から、車掌区と社員との間でのコミュニケーションのあり方が問われています。在宅勤務の取り扱いについても、「家でやることあるのか？」という後ろ向きの発想ではなく、「少しでも改善できることはないか」という前向きの発想が大切です。

また、同じ境遇に置かれた社員同士で車掌区の対応に差別があってはいけません。社員とのコミュニケーションを改めていくべきです。管理者に人材育成ポストを新設したのですから、まず管理者に対し、社員の事情を配慮した人材育成を実践するべきです。

車掌区としても本社や支社との関係から様々難しい事情があることは推察します。「少しでも改善しようとする姿勢を見せてほしい。思いを聞いてほしい」という社員の思いに応えることが重要です。今こそ『変革』する時です。車掌区の英断に期待します！